

県では、人口減少下においても、将来に渡って住み慣れた地域に安心して住み続けられるよう、「宮崎ひなた生活圏づくり」の取組として、地域運営組織の形成等を支援しています。この通信では、地域で暮らす人々が中心となって地域課題の解決に取り組んでいる事例など、これからの地域活動のヒントとなるようなものを発信していきます。



令和の桃源郷「おがわ作小屋村」を活用した買物支援について

～一般社団法人 おがわ作小屋村～

地域名：西米良村小川地区
活動地域：西米良村小川地区内
団体名：一般社団法人おがわ作小屋村
地域概況：人口60人、
世帯数39世帯、高齢化率56.6%
(住民基本台帳 令和6年10月1日現在)

令和6年度に県の補助事業を活用して、新たに商店機能を持たせた「おがわ作小屋村」について、一般社団法人おがわ作小屋村の上米良省吾様にお話を伺いました。

「おがわ作小屋村」について

- 「おがわ作小屋村」は、地区住民で運営しているお食事処、宿泊施設（桃源郷の宿）です。地元のおばちゃん、地元の食材を使い、地域に伝わる昔ながらの味で作る「おがわ四季御膳」が人気で、コロナ禍前にはなりますが、1日120食以上のご注文をいただいたこともあります。



おがわ四季御膳

商店機能を持たせることとしたきっかけについて

- 令和6年5月に地区内唯一の商店が閉店し、地区内で買物をするのができなくなったことがきっかけです。
- 村中心部までは車で40分ほどかかるため、地区の方にとって身近な「おがわ作小屋村」に商店機能を持たせることができれば、皆さんが安心して買物をするができると思いました。

商店で買うことのできる商品について

- 利用者の要望を踏まえて商品を増やしている段階ですが、インスタント食品や調味料、生活に必要な生活雑貨（洗剤、ティッシュ等）などを置いています。
- お食事処の方に冷凍庫を設置しているので、冷凍食品や肉、魚なども買うことができます。
- 将来的には、商店内に冷凍・冷蔵設備を設置する予定としています。



地域で移動支援の取組を検討する際の参考資料として『地域で始める移動支援手順書』を作成していますので、御活用ください。



手順書はコチラ



ダウンロード



店舗外観



店舗内（商品陳列状況）

商店機能を持たせる上で工夫した点について

- 「おがわ作小屋村」には宿泊施設もありますので、宿泊客の方も利用しやすいよう、キャッシュレス決済にも対応できるレジを導入しました。

1日の来客数と人気商品について

- 日にもよりますが、1日当たり10名程度の利用があります。
- これまで冷凍食品を食べる機会があまりなかった方もいるようで、肉まんやギョウザなどの冷凍食品が人気です。

今後の展望について

- 細く・長く継続することを目標としています。その上で、地区の方の要望（〇〇を置いてほしい。）に一つ一つ応えながら、地域に根差した運営をしていきたいと考えています。
- 今回、地区の皆さんの協力のおかげで「おがわ作小屋村」に商店機能を持たせることができましたが、地区の課題を解決できたのも、「おがわ作小屋村」の安定した経営があってこそだと思っています。Uターン者の更なる増加や、地元の味継承のための後継者育成など、細く・長く継続していくためには解決すべき課題もありますが、地区の皆さんと一緒に考えながら、みんなが暮らしやすい環境づくりに努めていきたいと思っています。
- 3～4月は桜の見頃ですので、ぜひ「おがわ作小屋村」にお越し下さい！

西米良村公式イメージキャラクター
カリコボーズのホイホイくん



宮崎県総合政策部中山間・地域政策課
中山間・特定地域振興担当
電話：0985-26-7036
メール：chusankan-chiiki@pref.miyazaki.lg.jp